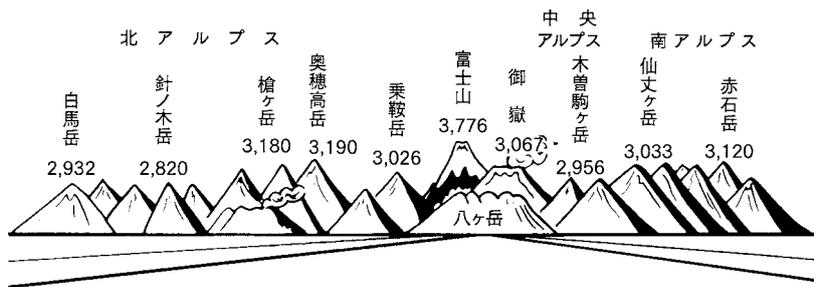


第 68 号

令和3年3月



# 砂防ニュースレター「長野」



国土交通省 砂防部長室において  
令和2年11月19日要望書を手渡しました

## 目 次

・全国治水砂防促進大会開催される 要望活動の実施 …………… 2、3	・池田町砂防堰堤完成記念植樹式 …………… 11
・災害伝承カード第二弾完成 …………… 4、5	・直轄事業中股川砂防堰堤群竣工式 …………… 11
・長野県砂防史2020刊行 …………… 6	・令和3年度砂防関係予算、行事予定等 …………… 12
・3か年緊急対策により完成した砂防 堰堤等 …………… 7~10	

## 「全国治水砂防促進大会」開催される

令和2年11月19日（木）、シェーンバッハ・サボー利根会議室で新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する中、開催されました。会場である利根会議室では、ソーシャルディスタンス確保のため座席数が例年の半分程度になりました。市町村長ご本人は入場できましたが、随員の皆さんは別館3階「立山会議室」、「六甲会議室」でリモート参加いただきました。また、別館入口のコンコースは立ち止まり禁止になり、受付も設けられず、会場内指定席に名札を貼り皆様をお迎えしました。

長野県からは、藤澤会長はじめ23名の首長、会員代理4名の皆様にご出席いただきました。促進大会は綿貫会長の挨拶で始まり、来賓祝辞、続いて国土交通省砂防部長今井一之様から「土砂災害の恐ろしさ 土砂災害対策の大切さ」と題して講演が行われ、その後、宮城県丸森町長保科郷雄様から「丸森町における復旧・復興と砂防事業」について意見発表がありました。

最後に、大会提言（案）について和歌山県田辺市長真砂充敏様から、「本年は7月の梅雨前線豪雨においてこれまでで最も広域となる全国37府県で土砂災害が発生するなど、既に全国で1,200件を超える土砂災害が発生している。平成30年の7月豪雨災害、北海道胆振東部地震、令和元年東日本台風など、毎年のように激甚な土砂災害が繰り返されており、復旧・復興の途上にある被災地も多い。気象変動による激甚化、頻発化が想定される土砂災害から『いのち』と『くらし』を守り、安心して生活できる強靱な国土を実現するために、以下の項目について早急に実現を図ることを提言する。1. 土砂災害防止施設の強力な整備推進 2. 大規模な土砂災害が発生した地域等における土砂災害対策の推進 3. 社会・経済活動を支える地域の基礎的なインフラの保全 4. 土砂災害対策の効率的・効果的な推進 5. 警戒避難体制の強化 6. 体制及び組織・人材育成の強化」と朗読があり、満場一致で採択されました。



ソーシャルディスタンスに配慮して席配置

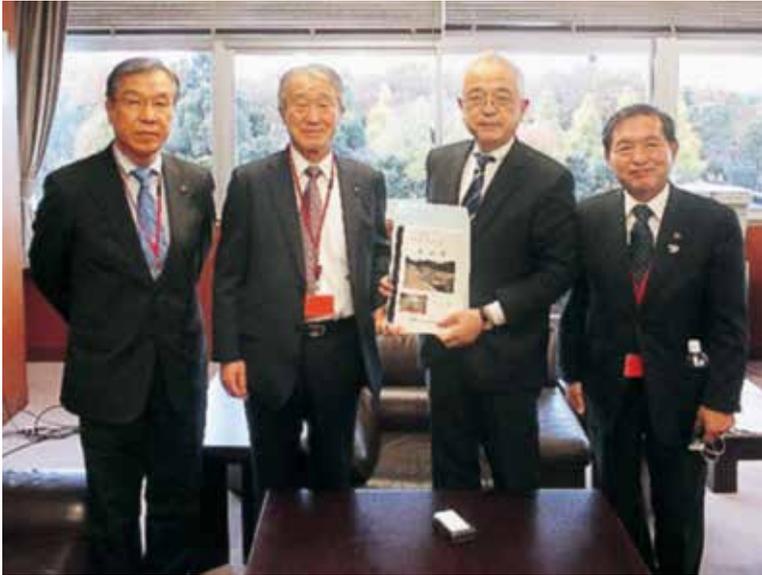
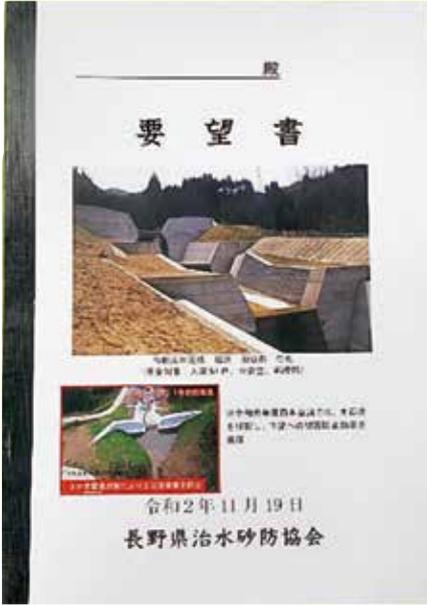


綿貫会長あいさつ

# 要望活動の実施【国土交通省、衆議院議員会館、参議院議員会館】

大会閉会后、国、県選出国會議員に対し令和3年度砂防事業関係予算の確保等について、役員による要望活動を実施しました。

当日、大会、要望活動にご参加いただきました会員市町村長様をはじめ、市町村職員、賛助会員の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。



野村正史 国土交通審議官



太田昌孝 衆議院議員



杉尾秀哉 参議院議員



武田良介 参議院議員



要望懇談の様子

# 災害伝承カード第二弾が完成しました！

長野県内各地の災害の記録を、石碑や祀（祭）り、伝説、地名などに託して後世に伝える「災害伝承」の営みは、古くから生活の知恵として行われてきました。

これら先人の知恵を広く伝え、将来にわたって災害による被害を減らすことができるように、長野県建設部砂防課と長野県立歴史館では、平成29年度から災害伝承についてホームページで情報発信を始めました。

長野県治水砂防協会では、災害伝承について広く周知することを目的に県内市町村の災害情報などを記載した「災害伝承カード」作成の取組に参加しています。

今年度は、昨年度の10種類に続く第二弾として、新たに32種類を作成しました。令和3年3月12日から各地区の道の駅や建設事務所・砂防事務所で配布を開始しました。

令和3年度には、災害伝承カード第三弾を作成し、県内77市町村のカードが揃う予定です。

その際は、会員の皆様に完全版を配布させていただく予定ですので、どうぞ楽しみにお待ちください。



災害伝承カード広報用ポスター



災害伝承カード 天龍村「坂部のかけ踊り」  
(↑おもて面、→うら面)



▼詳しくはこちら！

過去の災害に学ぶページ

検索



<https://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/manabu/manabu.html>

災害伝承カード一覧表

No.	災害の遺跡	市町村名	配布開始日
1	松原湖	小海町	令和元年11月5日
2	船魂社のシダレザクラ	岡谷市	〃
3	遠山川の埋没林	飯田市	〃
4	大正池「焼岳・大正池」	松本市	〃
5	防災メモリアル 地附山公園	長野市	〃
6	安政の川除「羽毛山堤防」	東御市	〃
7	理兵衛堤防	中川村	〃
8	蛇ぬけの碑・悲しめる乙女の碑	南木曾町	〃
9	乳川石堤	大町市	〃
10	黄金石地藏尊	飯山市	〃
11	妙寺千曲川洪水水位標外	長野市	令和3年3月12日
12	千人塚（正福寺）	上田市	〃
13	サンヨリコヨリ	伊那市	〃
14	阪本天山の墾田の碑	駒ヶ根市	〃
15	大俣の水神祭	中野市	〃
16	鹿嶋神社	大町市	〃
17	旧中込学校藤棚	佐久市	〃
18	荻沢川石堰堤	千曲市	〃
19	旧国鉄篠ノ井線廃線敷	安曇野市	〃
20	三滝	北相木村	〃
21	浅間神社	軽井沢町	〃
22	雨乞い地藏	青木村	〃
23	一文字堤防	長和町	〃
24	砥川	下諏訪町	〃
25	くらがり沢の蛇抜け	箕輪町	〃
26	竜口龍神の舞	高森町	〃
27	雲谷寺の鐘	平谷村	〃
28	坂部のかけ踊り	天龍村	〃
29	伴野堤防・河野堤防	豊丘村	〃
30	蛙（かわず）岩	上松町	〃
31	極楽寺	木祖村	〃
32	自然湖（長野県西部地震）	王滝村	〃
33	芦澤の石積堰堤	麻績村	〃
34	差切峡公園（竜王権現像）	筑北村	〃
35	川會神社	池田町	〃
36	万度宮	松川村	〃
37	森上の撓曲（断層崖）	白馬村	〃
38	常山堤及び常山堤碑	坂城町	〃
39	水中のしだれ桜	高山村	〃
40	大蛇祭り	山ノ内町	〃
41	鬼の首塚	木島平村	〃
42	薬師沢石張水路工	小川村	〃

# 長野県砂防史2020(砂防課設置80年記念)を刊行しました

この度、昭和47年に初めて編纂された「長野県の砂防」、平成4年に砂防課設置50年記念誌として発行された「長野県砂防史1992」に続き、3冊目の長野県砂防史となる「長野県砂防史2020」(砂防課設置80年記念)を刊行しました。

砂防課員一同、通常業務の合間を縫って情報収集や原稿執筆にあたりました。この間、直轄砂防事務所、県現地機関など、多くの関係機関の皆様にご協力をいただきましたこと、改めて感謝いたします。そして何より、本書の発刊を含め、長野県の砂防事業にご理解とご支援をいただいている長野県治水砂防協会の会員の皆様に心より感謝申し上げます。

今回、新たな内容としては、「平成」に多発した災害の記録、それら災害対策を含め、県土を強靱化するためのハード、ソフト両方での砂防等事業、長野県の大きなエポックとなった長野オリンピックと砂防、新たな「土砂災害防止法」の制定と運用、いのちを守る砂防等事業の柱である災害時要配慮者対策、さらには治水事業計画から社会資本整備重点計画への移行をはじめとする制度改革など、多岐にわたります。

一方で、Web環境の飛躍的進展で各種データ検索システム等が整備されていることから、掲載データの一部を簡素化しました。

編集を終え、改めて平成の時代での様々な変化とともに、明治以来脈々と受け継がれる長野県砂防が担う役割の重さを実感するところです。

本書が、先輩諸兄のご努力とご労苦に思いを致すきっかけとなるとともに、令和の「砂防長野」を担う次世代の皆さんの道標となればと願っております。

砂防課長 藤本 濟

## 【主な記載事項(目次より抜粋)】

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>1 長野県の主な土砂災害<ul style="list-style-type: none"><li>1-1 長野県の地勢</li><li>1-2 土砂災害をもたらす気象</li><li>1-3 大規模な土砂災害対策</li><li>1-4 主な土砂災害</li></ul></li><li>2 長野県砂防のあゆみ(明治から平成)<ul style="list-style-type: none"><li>2-1 直轄砂防事業</li><li>2-2 補助砂防事業</li><li>2-3 大型砂防ダム建設</li><li>2-4 社会資本整備重点計画の策定</li><li>2-5 社会資本整備総合交付金の創設</li><li>2-6 国土強靱化への取組</li><li>2-7 長野県の砂防事業計画</li><li>2-8 火山噴火緊急減災対策砂防計画</li><li>2-9 地すべり対策事業</li><li>2-10 急傾斜地崩壊対策事業</li><li>2-11 雪崩対策事業</li><li>2-12 長野県の砂防等事業費の推移</li></ul></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>3 長野県の砂防のあゆみ(平成から令和)<ul style="list-style-type: none"><li>3-1 平成という時代</li><li>3-2 長野オリンピックと砂防</li><li>3-3 砂防等事業の制度、技術基準の変遷</li><li>3-4 信州・長野県における土砂災害対策のあり方と事業仕分け</li><li>3-5 砂防施設の利活用、新技術の進展</li><li>3-6 総合土砂災害対策</li><li>3-7 土砂災害防止法の制定、運用</li><li>3-8 情報基盤の整備と運用</li><li>3-9 災害弱者対策～要配慮者対策</li><li>3-10 砂防等施設長寿命化対策</li><li>3-11 歴史的砂防施設の保全、災害の伝承</li><li>3-12 連携の力で砂防を支え、進める</li></ul></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>4 水系別砂防事業の概要<ul style="list-style-type: none"><li>4-1 信濃川上流、千曲川水系の砂防事業</li><li>4-2 信濃川上流、犀川水系の砂防事業</li><li>4-3 天竜川水系の砂防事業</li><li>4-4 木曾川水系の砂防事業</li><li>4-5 姫川水系の砂防事業</li><li>4-6 その他の水系の砂防事業</li></ul></li><li>5 地すべり対策事業</li><li>6 急傾斜地崩壊対策事業</li><li>7 雪崩対策事業</li><li>8 砂防関係事業の管理</li><li>9 砂防行政<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 直轄砂防事務所</li><li>(2) 長野県建設部</li><li>(3) 砂防課の推移</li><li>(4) 砂防事務所の推移</li></ul></li></ul> <p>(資料) 長野県砂防年表<br/>歴代砂防課職員名簿</p> |
|---|--|--|

# 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策により完成した砂防堰堤等施設の紹介

## (1) 砂防堰堤の新設・改築や既設堰堤の除石を前倒して実施

あなやまかわ さわざこ  
(砂) 穴山川 辰野町 沢底

事業概要 砂防堰堤工 H=9.0m L=61.0m V=2,530m<sup>3</sup>  
 施工期間 平成30年12月～令和元年11月（当初計画より約1年前倒し）



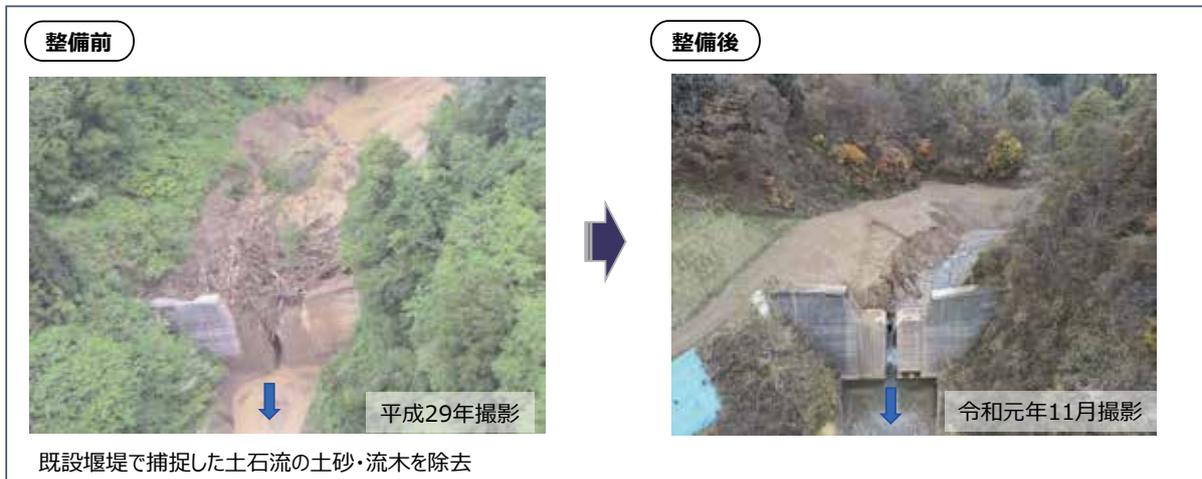
くろさわかわ みさとおぐら  
(砂) 黒沢川 安曇野市 三郷小倉

事業概要 堰堤改築工 H=7.5m L=49.0m V=2,278m<sup>3</sup>  
 施工期間 平成30年2月～令和2年3月（当初計画より約1年前倒し）



いでがわ てるおか  
(砂) 井出川 飯山市 照岡

事業概要 除石工 V=40,000m<sup>3</sup>  
 施工期間 平成31年4月～令和元年12月（当初計画より約1年前倒し）



まえがさわ しぶたみ  
(砂) 前ヶ沢 池田町 渋田見

事業概要 砂防堰堤工 H=9.0m L=107.5m V=5,037m<sup>3</sup>  
施工期間 平成30年10月～令和2年11月 (当初計画より約1年前倒し)

整備前



下流の人家・要配慮者利用施設・避難所等を保全

整備後



きたゆばらさわ ゆばら  
(砂) 北湯原沢 小谷村 湯原

事業概要 砂防堰堤工 H=11.5m L=56.0m V=1,940m<sup>3</sup>  
施工期間 平成29年8月～令和3年3月 (当初計画より約1年前倒し)

整備前



下流の人家・公民館・緊急輸送路 (国道) 等を保全

整備後



たき さわ しもおおか  
(砂) 滝の沢 長野市 下大岡

事業概要 砂防堰堤工 H=11.0m L=48.5m V=2,300m<sup>3</sup>  
施工期間 平成31年2月～令和2年10月 (当初計画より約1年前倒し)

整備前



下流の人家・要配慮者利用施設・市道等を保全

整備後



## (2) 地すべり対策を前倒して実施

べつしよ  
別所地区 上田市 別所

事業概要 地下水排除工  $\Sigma L=1,333m$ 、抑え盛土工  $V=2,700m^3$   
 施工期間 令和元年5月～令和3年3月（当初計画より約1年前倒し）



うらたてや  
裏立屋地区 上水内郡小川村 裏立屋

事業概要 グラウンドアンカー工  $\Sigma L=386m$ 、集水井1基  
 施工期間 平成31年3月～令和2年2月（当初計画より約1年前倒し）



## (3) 急傾斜地崩壊対策を前倒して実施

くほ  
久保地区 南佐久郡北相木村 久保

事業概要 崩壊土砂防止柵工  $H=4.7\sim 5.6m$   $L=60.2m$   
 施工期間 令和元年5月～令和3年1月（当初計画より約1年前倒し）



たけい  
武居地区 諏訪郡下諏訪町 武居

事業概要 崩壊土砂防止柵工 H=3.5~5.0m L=119.0m  
施工期間 平成31年3月~令和2年8月(当初計画より約1年前倒し)



おおむら  
大村地区 下伊那郡阿南町 大村

事業概要 崩壊土砂防止柵工 H=2.9~3.2m L=170.0m  
施工期間 平成31年3月~令和2年3月(当初計画より約1年前倒し)



みやま  
見山地区 木曽郡木祖村 見山

事業概要 吹付法砕工 L=2,166m A=2,004㎡  
施工期間 平成31年3月~令和2年6月(当初計画より約1年前倒し)



## 池田町 前ヶ沢砂防工事の完成記念植樹式が行われました

信濃川水系高瀬川の支川である前ヶ沢は土石流危険渓流で、上流域には大規模な崩壊に伴う不安定な土砂が堆積し、下流域には人家27戸、池田町地域防災計画の避難地クラフトパークがあり、土砂災害を未然に防ぐため砂防堰堤1基及び溪流保全工を整備しました。

令和2年10月31日に砂防堰堤の完成を記念し、宮澤敏文県議会議員、甕聖章池田町町長をはじめ地元区関係者、工事施工関係者出席のもと地元主催によるオオヤマザクラの完成記念植樹式が開催されました。

植樹したオオヤマザクラは、地元ボランティア団体により維持管理される予定です。

この場所が地域の皆様の憩いの場となるよう願っております。

【事業箇所】	(砂) 前ヶ沢 長野県 北安曇郡 池田町 洪田見
【事業概要】	砂防堰堤工 (部分透過型) 1基 H=11.0m、L=107.5m 溪流保全工 L=62.8m
【事業期間】	平成27年～令和2年



(砂) 前ヶ沢砂防工事 全景



植樹式 (令和2年10月31日開催)

## 直轄事業 中股川砂防堰堤群竣工式が開催されました

長野県・新潟県にまたがる一級河川姫川水系根知川流域で、昭和58年から進められてきた国土交通省直轄砂防事業「中股川砂防堰堤群」の竣工式が、昨年11月4日、新潟県糸魚川市において、長野県・新潟県の関係者が一堂に会し、開催されました。

施設の多くは小谷村内にあり、長野県と新潟県を結ぶ「塩の道」の鉄道や国道など重要ライフラインを保全し、土砂災害から“地域の自然、観光、生活”を守る役割が期待されます。



## 令和3年度 長野県砂防関係予算

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が令和2年12月に閣議決定され、同年度2月補正予算を初年度とし、令和7年度まで実施されることになり、長野県では砂防関係事業費として、141億円余が計上されました。

会員の皆様に熱心かつ強力に要望活動に取り組んでいただいた成果であります。改めて、感謝申し上げます。

令和3年度の当初予算は、補助事業公共事業費が80億円余りで、対前年比50.9%、県単独公共事業が6億2千万円余で対前年比127.4%となっています。災害関連事業等を加えた全体事業費は98億円余で、対前年比56.2%となっています。

当初予算と補正予算を併せた額は、240億円余となり、対前年比120.2%となります。

(単位：千円、%)

事業名	R2年度2月補正 (国補正対応分) (A)	R3年度 当初予算 (B)	(A)+(B) =(C)	R元年度2月補正 (国補正対応分) (D)	R2年度 当初予算 (E)	(D)+(E) =(F)	対前年比較	
							B/E	C/F
●砂防総務費	0	263,295	263,295	0	263,679	263,679	99.9	99.9
●補助公共事業								
□砂防費	8,484,532	4,609,683	13,094,215	1,736,800	9,393,280	11,130,080	49.1	117.6
□地すべり対策費	2,468,960	1,414,400	3,883,360	196,560	2,641,600	2,838,160	53.5	136.8
□急傾斜地崩壊対策費	3,200,080	2,066,480	5,266,560	523,120	3,859,440	4,382,560	53.5	120.2
小計	14,153,572	8,090,563	22,244,135	2,456,480	15,894,320	18,350,800	50.9	121.2
●災害関連事業								
□砂防費		300,000	300,000		300,000	300,000	100.0	100.0
□地すべり対策費		300,000	300,000		300,000	300,000	100.0	100.0
□急傾斜地崩壊対策費		200,000	200,000		200,000	200,000	100.0	100.0
小計	0	800,000	800,000	0	800,000	800,000	100.0	100.0
●県単独公共事業費								
□砂防費		380,536	380,536		276,550	276,550	137.6	137.6
□地すべり対策費		107,399	107,399		94,600	94,600	113.5	113.5
□急傾斜地崩壊対策費		140,367	140,367		122,000	122,000	115.1	115.1
小計	0	628,302	628,302	0	493,150	493,150	127.4	127.4
●砂防受託費		72,000	72,000		72,000	72,000	100.0	100.0
計	14,153,572	9,854,160	24,007,732	2,456,480	17,523,149	19,979,629	56.2	120.2

## 長野県治水砂防協会令和3年(2021年)行事予定等

5月27日(木)	第85回全国治水砂防協会通常総会	東京都：シェーンバツハ・サボー利根
6月1日～30日	土砂災害防止月間	
7月1日(木)	第8回土砂災害対策実務者講習会	東京都：シェーンバツハ・サボー利根
7月16日(金)	長野県治水砂防協会理事会	長野市：犀北館ホテル南館2階
8月6日(金)	第83回長野県治水砂防協会通常総会	長野市：メルパルクNAGANO 3階「白鳳」
10月28日～29日	第9回砂防現地視察と討論会	宮城県内：市町村長対象
11月18日(木)	全国治水砂防促進大会	東京都：シェーンバツハ・サボー利根
〃	〃 長野県治水砂防協会要望活動	東京都：衆・参議院議員会館、国土交通省

●第68号 編集・発行 長野県治水砂防協会 〒380-8570 長野市大字南長野幅下692-2 長野県庁砂防課内  
TEL：026(232)0144 FAX：026(233)4029 E-mail：n-sabo@sky.plala.or.jp